

平成 25 年 12 月 9 日

報道関係者各位

宇都宮大学国際学部附属多文化公共圏センター  
福島乳幼児妊産婦支援プロジェクト  
代表 重田康博

**「原発事故による栃木県内への避難者・栃木県北の乳幼児保護者  
アンケート報告会およびパネルディスカッション」のお知らせ**

2011 年 3 月に発生した原発事故の被害は、福島県をはじめ、栃木県を含めた周辺地域において、現在も深刻なまま続いています。

宇都宮大学の福島乳幼児妊産婦支援プロジェクト（FSP）では、昨年度に引き続き、今年度も県内の避難者アンケート(回収数 107 世帯)と、県北の乳幼児保護者アンケート(回収数 2,202 世帯)を実施しました。栃木県内の原発事故からの避難者や栃木県北の高線量地域に住む被災者は未だに多くの問題と不安を抱えて生活をしています。アンケート報告会では、被災者の皆様がどのような問題に直面しているのか、そして今後いかなる支援が必要なのかを明らかにします。

同時に、2012 年に成立した「原発事故子ども・被災者支援法」が抱える問題についても、当事者の方々に登壇いただきパネルディスカッションを通して考えます。

栃木県だけでなく国内の原発事故被災者の状況を考えるためにも重要な機会となりますので、是非ご参加いただき、取材報道いただきますようお願い申し上げます。

**【日時】 2013年12月15日(日)13:00～16:30**

**【場所】 宇都宮大学峰キャンパス 大学会館2階 多目的ホール**

**【プログラム】**

主催者挨拶 ほか

第 1 部 アンケート報告会 (13:10～14:20)

司会：高橋若菜（国際学部准教授）

○県内避難者アンケート報告 阪本公美子（国際学部准教授）  
匂坂宏枝（FSP スタッフ）

○県北アンケート報告 清水奈名子（国際学部准教授）

○質疑応答

第2部 パネルディスカッション (14:30~16:30)

司会：重田康博 (国際学部教授・FSP 代表)

○「子ども・被災者支援法の行方」の問題

### パネリストのご紹介

- 大山 香 (おおやま かおり)  
富岡町出身。「とちぎ暮らし応援会」の訪問支援員、「栃木避難者母の会」代表。宇都宮市在住。
- 手塚 真子 (てづか まこ)  
「那須塩原放射能から子どもを守る会」代表。那須塩原市在住。
- 森田 省一 (もりた しょういち)  
双葉郡檜葉町出身。「那須塩原放射能から子どもを守る会」副代表。那須塩原市在住。
- 荒川 朋子 (あらかわ ともこ)  
学校法人アジア学院事務局長。「那須野が原の放射能汚染を考える住民の会 (NRARP)」メンバー。那須塩原市在住。
- 関谷 暢之 (せきや のぶゆき)  
栃木県議会議員。

### 【お問合せ・連絡先】

宇都宮大学国際学部附属多文化公共圏センター  
福島乳幼児・妊産婦支援プロジェクト  
担当 匂坂 (さぎさか)

〒321-8505

栃木県宇都宮市峰町350

電話：028-649-5228

Mail：[sagih-fsp@hotmail.co.jp](mailto:sagih-fsp@hotmail.co.jp)

公式ブログ：<http://sicpmf.blog55.fc2.com/>